

## 第10回 奈良県の今後の森林のあり方について

○実施期間 令和6年11月13日～11月19日

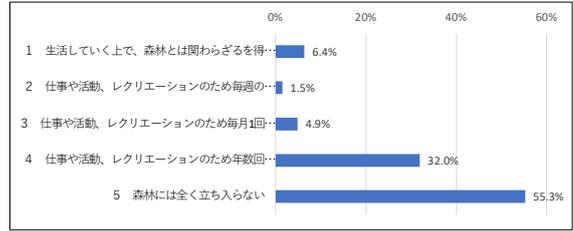
○アンケート会員数 307名 回答者数 266名 (86.6%)

○奈良県では、県民の貴重な環境資源である豊かな森林を未来に引き継ぐため、平成18年度より「奈良県森林環境税」を導入し、森林を守り育てる取組を推進してまいりました。課税期間は一期5カ年とし、今年度は第4期の4年目にあたり、来年度は5年目の見直しの時期を迎えます。県民の皆さまがこの森林環境税に対してどのように感じておられるか、また、奈良県の森林・林業施策に対してどのような意識をお持ちかを把握し、今後の施策の方向性を決めていくうえで貴重な基礎資料とするため、この度アンケート調査を実施することとなりました。

(グラフ内スペースの関係から、選択肢の全文が表示されないことがあります。左の表でご確認ください。)

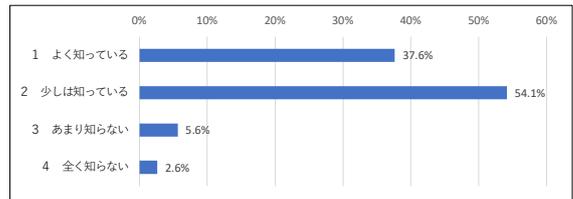
### 問1 あなたは、森林とどの程度関わりがありますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 生活していく上で、森林とは関わらざるを得ない	17	266	6.4%
2 仕事や活動、レクリエーションのため毎週のように森林に立ち入っている	4		1.5%
3 仕事や活動、レクリエーションのため毎月1回は森林に立ち入っている	13		4.9%
4 仕事や活動、レクリエーションのため年数回は森林に立ち入っている	85		32.0%
5 森林には全く立ち入らない	147		55.3%
総計	266		100.0%



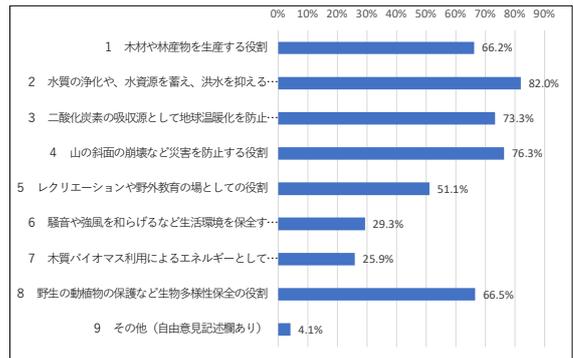
### 問2 あなたは、森林には多面的な機能(土砂災害の防止、地球温暖化の防止、水を浄化し洪水を防ぐ、大気をきれいにする、木材を生産する、野生生物を保全する)があることをご存知ですか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 よく知っている	100	266	37.6%
2 少しは知っている	144		54.1%
3 あまり知らない	15		5.6%
4 全く知らない	7		2.6%
総計	266		100.0%



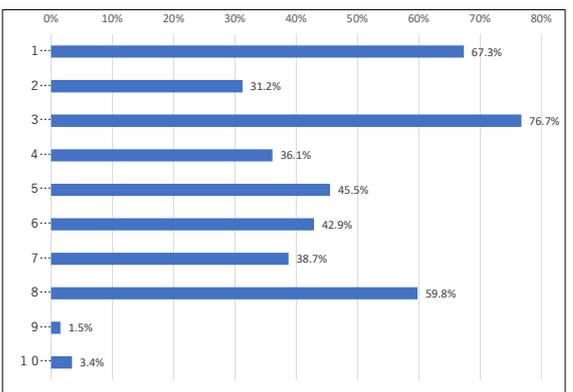
### 問3 あなたが、奈良県の森林に対して期待する役割はどれですか。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 木材や林産物を生産する役割	176	266	66.2%
2 水質の浄化や、水資源を蓄え、洪水を抑える役割	218		82.0%
3 二酸化炭素の吸収源として地球温暖化を防止する役割	195		73.3%
4 山の斜面の崩壊など災害を防止する役割	203		76.3%
5 レクリエーションや野外教育の場としての役割	136		51.1%
6 騒音や強風を和らげるなど生活環境を保全する役割	78		29.3%
7 木質バイオマス利用によるエネルギーとしての役割	69		25.9%
8 野生の動植物の保護など生物多様性保全の役割	177		66.5%
9 その他(自由意見記述欄あり)	11		4.1%
総計	1,263		



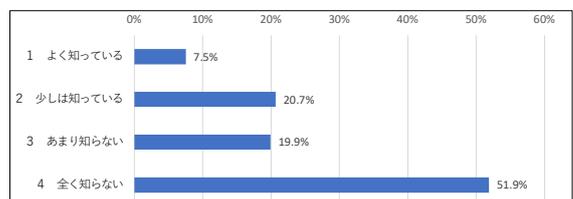
### 問4 山村地域の過疎化や木材価格の低迷、生活様式の変化、森林所有者の高齢化や不在村化等を背景に、必要な手入れがなされず、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されない森林が増加しています。あなたが特に問題だと思われることを教えてください。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 必要な手入れがなされない人工林の増加	179	266	67.3%
2 生活様式の変化による木材利用の減少、木材価格の低迷	83		31.2%
3 林業就業者の減少や高齢化	204		76.7%
4 子ども達が自然に触れる機会の減少	96		36.1%
5 森林の所有境界が不明確になり、所有者による森林管理が困難な森林の増加	121		45.5%
6 野生動物による農林業被害	114		42.9%
7 ナラ枯れなど新たな森林病虫害被害の発生	103		38.7%
8 最近の集中豪雨による山の斜面の崩壊	159		59.8%
9 特に問題があるとは思わない	4		1.5%
10 その他(自由意見記述欄あり)	9		3.4%
総計	1,072		



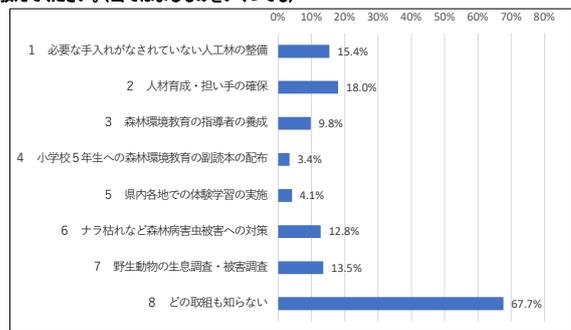
### 問5 奈良県では、平成18年度より、奈良県森林環境税※を導入し、森林を守り育てるための取組を行っています。このアンケート調査をご覧になる前から、「奈良県森林環境税」のことをご存知でしたか。※個人の方には500円/年をご負担いただいています。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 よく知っている	20	266	7.5%
2 少しは知っている	55		20.7%
3 あまり知らない	53		19.9%
4 全く知らない	138		51.9%
総計	266		100.0%



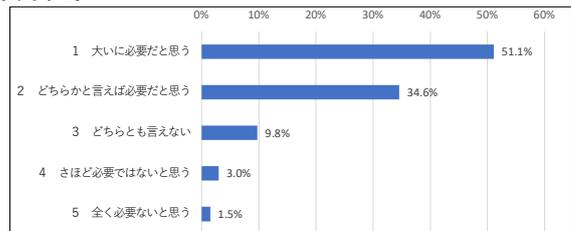
問6 奈良県では、奈良県森林環境税を活用して、次のような取組を行っています。ご存じの取組がありましたら教えてください。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 必要な手入れがなされていない人工林の整備	41	266	15.4%
2 人材育成・担い手の確保	48		18.0%
3 森林環境教育の指導者の養成	26		9.8%
4 小学校5年生への森林環境教育の副読本の配布	9		3.4%
5 県内各地での体験学習の実施	11		4.1%
6 ナラ枯れなど森林病害虫被害への対策	34		12.8%
7 野生動物の生息調査・被害調査	36		13.5%
8 どの取組も知らない	180		67.7%
総計	385		



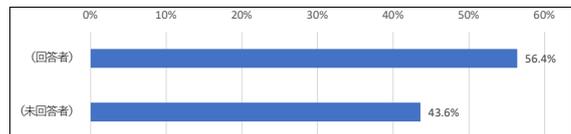
問7 あなたは奈良県森林環境税を活用して森林を守り育てる取組を行っていることについて、総論としてどう思われますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 大いに必要だと思う	136	266	51.1%
2 どちらかと言えば必要だと思う	92		34.6%
3 どちらとも言えない	26		9.8%
4 さほど必要ではないと思う	8		3.0%
5 全く必要ないと思う	4		1.5%
総計	266		100.0%



問8 問7で選択いただいた理由を教えてください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
(回答者)	150	266	56.4%
(未回答者)	116		43.6%
総計	266		100.0%

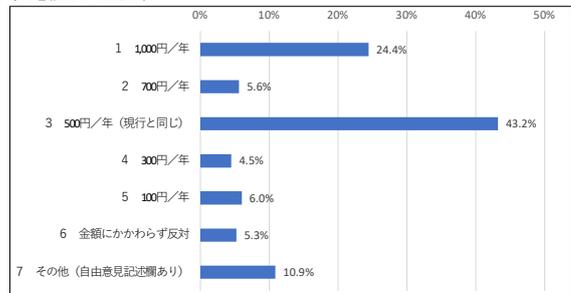


自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

・税金を使用することは、いいと思うが、それで改善された点、できなかった点をオープンにして、それに基づいて県民の声を聞き、県も考えてくれることを期待します  
 ・税を投入しても、あまり効果なければ、コストベネフィットが少なく、その必要性が問われると思います  
 ・必要とは思いますが、森林環境税の用途と結果について広報して欲しい。また広報されているのであればどこを見ればよいか教えて欲しい  
 ・奈良県は森林が多く、林業が盛んなので、個人が税金などのお金を出して、森林の保護をするのは大事だと思う。ただ、知らない人も多いと思うし、税金はお金を取られているという感覚になる人も多い。認知、周知だけではなく、なぜ必要なのか、使い道、税金を負担することにより得られるメリットなどを説明しないといけないと思う

問9 今後、奈良県森林環境税を継続していく場合、森林を守り育てるためにご負担いただける金額について、お考えを教えてください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 1,000円/年	65	266	24.4%
2 700円/年	15		5.6%
3 500円/年(現行と同じ)	115		43.2%
4 300円/年	12		4.5%
5 100円/年	16		6.0%
6 金額にかかわらず反対	14		5.3%
7 その他(自由意見記述欄あり)	29		10.9%
総計	266		100.0%



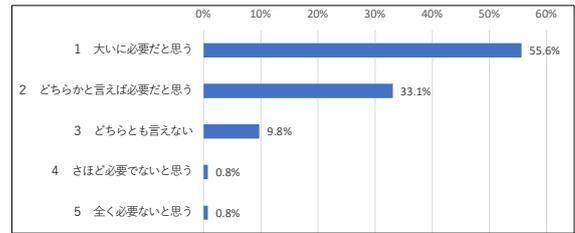
問10 今後、奈良県森林環境税が継続された場合、森林環境税を活用して取り組むべきだと思うものを教えてください。(当てはまるものをいくつでも)

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 必要な手入れがなされない人工林の整備	199	266	74.8%
2 森林環境教育の推進	89		33.5%
3 森林生態系の保全	160		60.2%
4 人材育成・担い手の確保	187		70.3%
5 木材利用の推進	113		42.5%
6 その他(自由意見記述欄あり)	17		6.4%
総計	765		



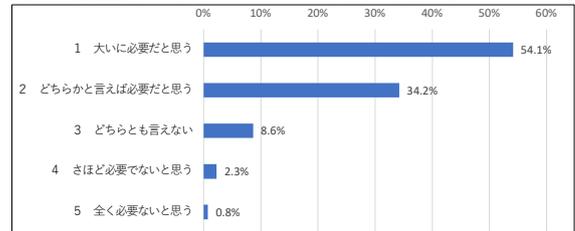
問11 奈良県では、必要な手入れがなされず、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されない人工林を、防災機能や生物多様性の高い、様々な種類や高さの木々が生えた多様で自然な森林へ変えていこうとしています。このことについて、どう思われますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 大いに必要だと思う	148	266	55.6%
2 どちらかと言えば必要だと思う	88		33.1%
3 どちらとも言えない	26		9.8%
4 さほど必要でないと思う	2		0.8%
5 全く必要ないと思う	2		0.8%
総計	266		100.0%



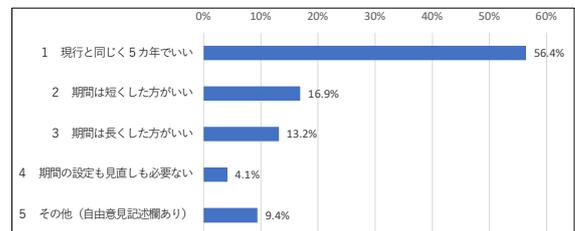
問12 奈良県では、地形や標高等それぞれの地域の条件に応じて、多様な森林づくりをコーディネートできる人材の育成・配置を開始しています。このことについて、どう思われますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 大いに必要だと思う	144	266	54.1%
2 どちらかと言えば必要だと思う	91		34.2%
3 どちらとも言えない	23		8.6%
4 さほど必要でないと思う	6		2.3%
5 全く必要ないと思う	2		0.8%
総計	266		100.0%



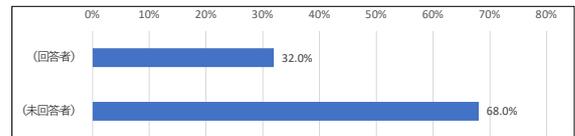
問13 現行の「奈良県森林環境税」は5カ年の期間を設定しており、第4期は令和7年度までとなっています。効果の検証と内容の見直しを行うため、一定の期間を設定していますが、あなたはこの期間をどの程度に設定したらよいと思われますか。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
1 現行と同じく5カ年がいい	150	266	56.4%
2 期間は短くした方がいい	45		16.9%
3 期間は長くした方がいい	35		13.2%
4 期間の設定も見直しも必要ない	11		4.1%
5 その他(自由意見記述欄あり)	25		9.4%
総計	266		100.0%



問14 奈良県森林環境税や奈良県の森林について、ご意見がありましたらご記入ください。

選択肢	回答数	回答対象者	比率
(回答者)	85	266	32.0%
(未回答者)	181		68.0%
総計	266		100.0%



自由意見記述欄に記載された意見(抜粋)

・奈良県森林環境税やその用途について、また必要性について、いろいろ媒体を活用して県民にさらに広報してほしい。また、人材を育てることが最も重要だと思う  
 ・奈良県はそのほとんどが森林であり、豊かな自然を未来に残していくことは、地球温暖化の防止にもつながることになるので、短期、中長期的な計画で進めて欲しい。人材育成は、専門的な人材も必要だが、一般市民の力を活用する工夫、例えば、イベントなどを通じた保全活動も必要だと思う  
 ・奈良県は、人口が北部に集中しており、森林の恩恵を感じることが少ないと思う。しかし、シカの増加に伴う被害等、早急に対策を取るべき時期で、それを実施できるのは、県行政のみであると思う  
 ・森林について県がどのような取り組みをしているのかあまり伝わってこない。大切な資源ととらえており、機会があれば個人のできる範囲で支援になるような行動はしたいと考えているので、県民が気軽に森林のことについて知ったり触れたりできるようなアピールを頑張してほしい